

I. 都市部と地方の年収の比較

都市部の世帯年収は地方の1.09倍、夫の年収では1.14倍

都市部と地方で、30歳代後半～40歳代の年収の水準と伸び率にどのような違いがあったかをみた。ここでは、都市部を政令指定都市および東京都区部、その他の市町村を地方として大まかに分け分析を行っている。対象は核家族世帯に限定している。

世帯年収、夫の年収（税引き前、名目値）の水準はともに都市部の方が高い。世帯年収では65.3万円の差が、夫の年収のみで見れば79.4万円の差があった。また比率（都市部／地方）で見ると、世帯年収では1.09倍、夫の年収では1.14倍となる（図表I-1）。都市部と地方では、ほぼ1割前後の年収差があるといえる。

年収の伸び率（個々の世帯の伸び率の平均）は、世帯年収では都市部が13.8%、地方が10.6%と3%ポイント程度の差になっている。一方の夫の年収では都市部が17.6%、地方が8.4%と、その差が9%ポイントと、より大きな開きになっている。この結果は、都市部と地方で夫の年収差が、30歳代から40歳代にかけてより広がることを示唆している。

図表 I-1 都市部、地方別の年収とその伸び率

	都市部	地方	比率 ³⁾
世帯年収 ¹⁾ (2007年調査)	764.2万円	698.9万円	1.09
伸び率 ²⁾ (2002→2007)	13.8%	10.6%	
夫の年収(2007年調査)	664.9万円	585.5万円	1.14
伸び率 ²⁾ (2002→2007)	17.6%	8.4%	

対象数：都市部 104、地方 272。夫平均年齢：都市部 42.9歳、地方 43.4歳

1) 調査前年の年収、税引き前、名目値

2) 個々の世帯の伸び率の平均をとったものである。

3) 都市部／地方

参考表 都市部、地方別の年収と比率の年次推移

世帯年収 ¹⁾	(万円)					
	2002年調査	2003年調査	2004年調査	2005年調査	2006年調査	2007年調査
都市部	697.7	678.7	715.6	720.9	732.5	764.2
地方	637.2	632.1	649.0	670.0	683.8	698.9
比率 ²⁾	1.09	1.07	1.10	1.08	1.07	1.09

夫の年収 ¹⁾	(万円)					
	2002年調査	2003年調査	2004年調査	2005年調査	2006年調査	2007年調査
都市部	592.1	584.0	614.8	628.3	648.1	664.9
地方	554.3	545.4	558.0	574.9	578.2	585.5
比率 ²⁾	1.07	1.07	1.10	1.09	1.12	1.14

2002年～2007年調査で年収についての回答が揃う、核家族世帯を対象(対象者数：都市部 104、地方 272)

1) 調査前年の年収、税引き前、名目値

2) 都市部／地方